

令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (II 外国人の子供の就学促進事業)
 事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【 川崎市 】

令和5年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制



2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること

⑤外国人の子供の就学状況や進学状況に関する調査

アンケート調査においても回答を得られなかった学齢児童・生徒のいる外国人世帯について、訪問により就学状況の確認を行った。

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること

⑤外国人の子供の就学状況や進学状況に関する調査

成果: 就学状況が不明だった学齢児童・生徒57人に対し、延べ107回の訪問を行い、就学及び居住等の状況の確認ができた。

課題: 複数回の訪問によっても会えなかったケースの就学状況の把握が課題。

	3～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳以上 (過年齢)
本事業で対応した子供の数	人	34人	23人	人

4. その他(今後の取組等)

外国人の就学状況の把握のため、今回の訪問調査の結果を踏まえ、引き続きアンケート調査及び訪問調査を実施。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになつても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要是、担当者・連絡先欄を除き文部科学省ホームページで公開する。